

## 福岡大学病院での救急救命士の気管挿管実習

杉 恭之<sup>1)</sup> 香取 清<sup>1)</sup> 平井 孝直<sup>1)</sup>  
生野慎二郎<sup>1)</sup> 仁田原慶一<sup>1)</sup> 筒井 清嗣<sup>2)</sup>  
橋本 明次<sup>2)</sup> 山本 芳弘<sup>2)</sup> 内場 祐二<sup>3)</sup>  
重 孝正<sup>3)</sup> 瀧下由利恵<sup>4)</sup> 中川 朋子<sup>4)</sup>  
比嘉 和夫<sup>1)</sup>

1) 福岡大学病院麻酔科

2) 福岡市消防局

3) 糸島消防本部

4) 福岡大学病院看護部・手術部

要旨：福岡大学病院では、平成17年5月23日に救急救命士の気管挿管実習を始め、平成18年3月15日に5人目の実習が修了したので報告する。救命士による気管挿管実習の説明を234症例に行い、同意が得られたのは177症例（75%）で、同意を得ることが出来なかったのが57症例（25%）であった。気管挿管実習を行った177症例のうち、指導医が気管挿管が容易でないと判断して挿管実習を中止したのは8症例であった。救急救命士が気管挿管実習を行った169症例中、気管挿管に成功したのは151症例（89%）で、2回の施行で挿管できなかったのは18症例（11%）であった。

牽引用語：救急救命士，気管挿管実習，メディカルコントロール，気道